

↑ 旅行のパンフレットの写真

- ①伊南川
- ②スキー場
- ③温せん
- ④高清水公園

南郷地区は、すずしい気候を生かしたトマトさいばいがさかな地域です

「わたしは、気候を生かしたトマトづくりを調べたいな。どうやって調べればいいのかな。」

「ぼくは、スキー場やそば畑のように、山地がどのように利用されているのか知りたいな。」

トマトさいばいがさかな南郷地区の人びとは、土地の様子に合わせて、どのようなくらしや仕事をしているのでしょうか。

4月

たねまき
4月になったらトマトの種をまきます。

5月

仮植（かしょく）終りよう
5月も近づくころ、育ったなえをポットに植えます。

6月

定植（ていしょく）終りよう
柱を立てて、なえを畑に植えます。

3月

畑から雪をなくす
3月になったら、畑の雪をとかし始めます。

トマトが出荷されるまで

ゆき由紀さんたちは、役場の人から送られてきた手紙やしりょうをもとに、南郷地区のトマトづくりの様子をまとめてみました。



トマトをつくっている方の話

みなみあいづちほう南会津地方は、すんだ空気と水、そして昼夜の温度差が大きいという気候のため、トマトさいばいにてきています。そのためとてもあまくてみずみずしいトマトが育ちます。

毎年3月の末からトマトづくりを始めます。トマトの実をかくじつにつけさせるため、ハチを使ってもいます。おいしいトマトができればいいなと思いながら、いつもいろいろな作業をしています。



↑ マルハナバチ

南郷地区のトマトはどのようにつくられているのでしょうか。

7月



しゅうかく直前

7月中ごろから出荷がはじまります。

7月～10月



選果作業

サイズや色によって選別をしてから、はこにつめます。



出荷

トラックで市場へ年間およそ2400トン運ばれます。



店先にトマトがならべられ売られます。



「ハチを使って受粉しているなんてすごいね。」



「機械ではこにつめていくんだね。」

1962年（昭和37年）に南郷地区で14名の人が「トマト研究会」をつくりました。そして、サッカーコートより少しせまい広さの土地でトマトのさいばいに取り組んだのが南郷トマトの始まりでした。だんだんとまわりの村や町でもさいばいされるようになり、加工品も作られるようになりました。ゆき由紀さんたちは、トマトを使ったみやげものについて調べてみることにしました。



仮植（かしよく）

本植えの前に一時的にどこかに植えておくこと。

定植

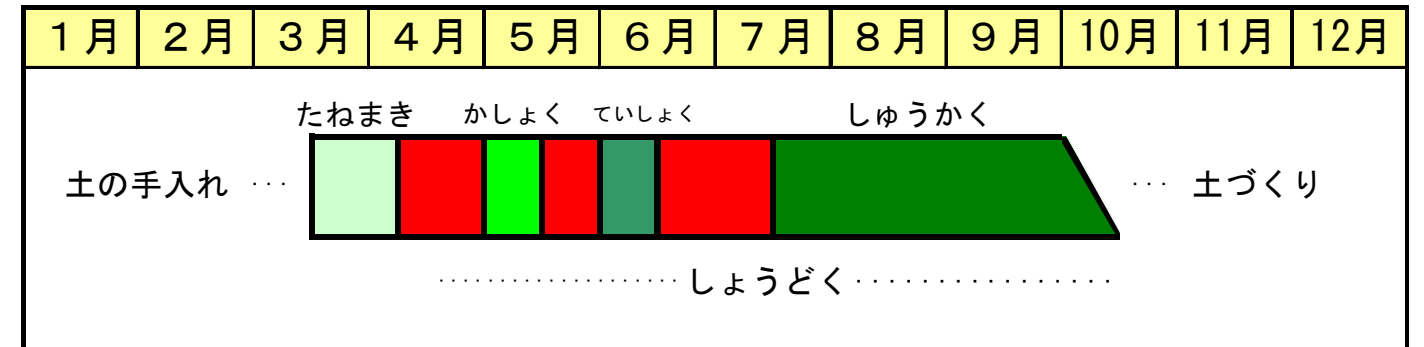
なえを、なえどこからうつして、田畑に本式に植えること。

いろいろなトマトの加工品

トマトを使ってどのような加工品が作られているのでしょうか。

ゆき由紀さんたちは、農家の人たちはトマトを生産できない時は、どのようにしているのかを調べてまとめてみました。

トマトづくりこよみ



予冷庫をそなえた新選果場



トマト畑の方の話

平成16年に新しいトマトの選果場ができました。この建物は雪を利用した予冷庫をそなえています。そのため、たくさんトマトが収穫できた時に長い間とっておくことができるようになりました。また、トマトを使った加工品としてトマトジュースやトマトカレーを作っています。農家の人たちが育てたトマトをもっと多くの人にあげてほしいと思います。冬になると作物ができないのでスキー場で働く人もいます。

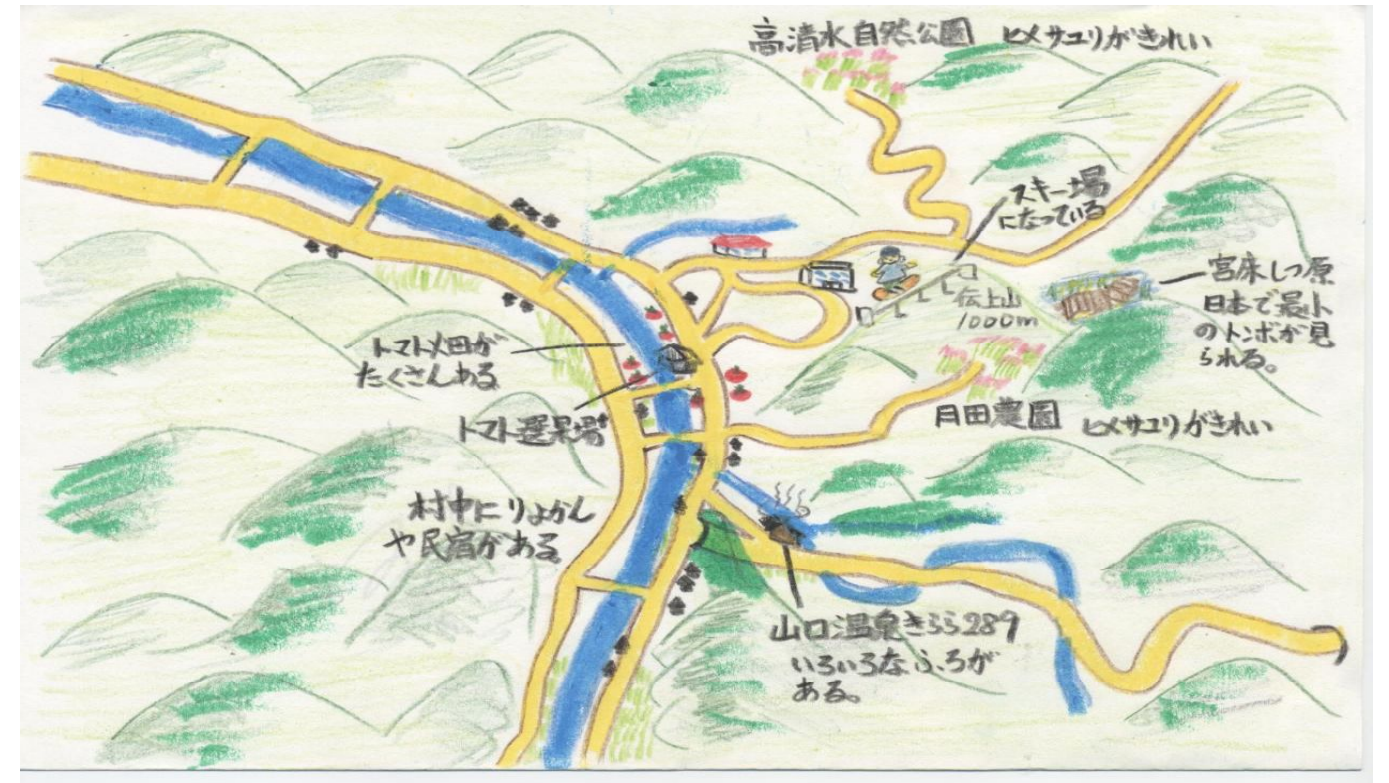


新しい選果場の内部。冷ぼう用のダクト

なんごう
南郷トマトジュースは、味や形がはん
きかく
売規格に合わない生食用トマトを原料に
して作りました。規格外のトマトを利用
したことで農家の収入がふえました。ジュ
ースの味もよいので観光客に人気があ
ります。



なんごう
南郷トマトカレーは、規格に合わない
きかく
トマトを使って作られています。トマト
ジュース以外に何かトマトを使った加工
品はないかを考え、平成15年に開発さ
れました。さらに16年には、トマトハ
ヤシも開発されました。



↑ たかやさんたちのまとめ

南郷地区の地形と、土
地の利用のしかたには、
どのようなとく色がある
でしょうか。

山の森にかこまれた地区

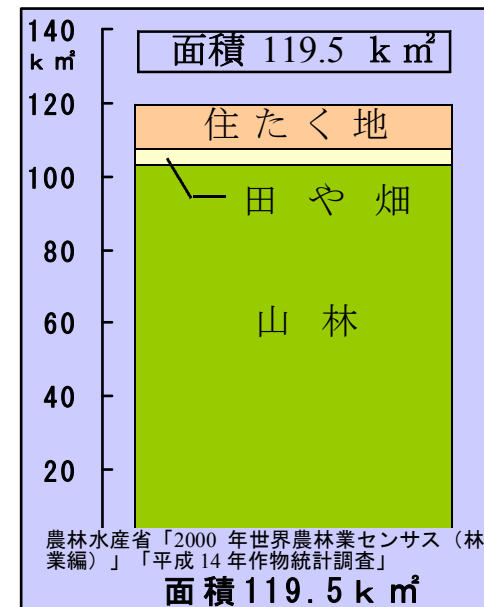
ゆき
由紀さんたちは、しりょうをもとになん
ごう
郷地区の地形と、土地の利用のしかたを調
べてみました。

トマトづくりの工夫やろう

- ・ トマトの大きさやあま
でランクがちがってしまう。
- ・ じょうずにもかないと高
く売れない。
- ・ 形のわるいトマトは加
工する

・ くさらないように雪室で
保もんでおく

おいしいトマトがで
きるようにがんばって
います。



↑ 南郷地区の土地利用

支所の人の話

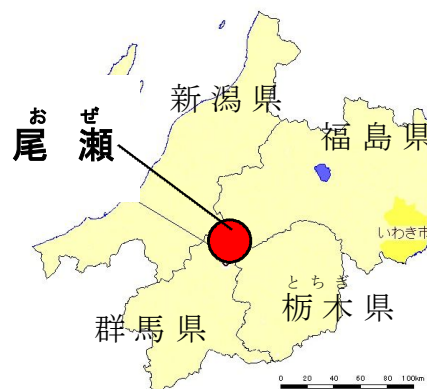
みなみあいづちいき
南会津地域は、森林にかこま
れた地いきです。昔から、曲げ
わっぱや農耕具など豊富な木材を活用して
生活を行っていました。稲作だけでなく、
すずしい気候を利用した花づくり、トマト
やそばのさいばいも行われてきました。
豊富な雪と山のしゃめんを活用したスキ
ー場があり、冬には東京などから来たスノ
ーボーダーやスキーヤーでにぎわいます。



介 尾瀬沼と燧ヶ岳 (標高2356m)

東北でいちばん高い山燧ヶ岳

福島県、新潟県、群馬県の3つの県に
 せつする位置に尾瀬があります。燧ヶ岳
 から見下ろす湿地帯にはミズバショウや
 ニッコウキスゲなどの花が見られ、毎年
 多くの観光客が尾瀬におとずれています。



3

土地のつく色 を生かした 伝とう工業

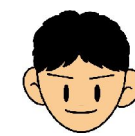
地いきのつく色を生かして
 行われている伝とう的な産業
 について調べよう。

昔からの産業

としきさんが、地区の子ども会で冬
 休みに焼き物の絵つけをしに行った話
 をしていました。



「会津若松市の方へ行ったときに
 茶わんに絵をかいたことが楽しか
 ったなあ。」



「ぼくは、はま通りに行ったとき
 にそれをやったことがある。」



「わたしは、白河のしんせきの家
 に行ったとき、だるまに色をつけ
 たことがあるよ。」



みんなは、昔と同じやり方でものをつくる、伝とう工業がさかんな県内の町について調べることにしました。

「伝とう的な工業にはどんなものがあるのか知りたいな。」

「わたしたちの住んでいる町にもあるのかな。」

会津美里町の本郷地区の焼き物にたずさわる人びとは、どのような生活や仕事をしているのでしょうか。



とうき器

じき器

会津本郷焼はどのようなものなのか調べてみましょう。



会津美里町の焼き物

たくまさんたちは、会津美里町に行き、会津本郷焼歴史資料展示室で会津本郷焼のの作品を見たり、かま元でつくり方を体験したりすることにしました。

「本郷焼をつくっている地いきは、どんなところなのかな。」

「どうして焼き物がつくられるようになったのかな。」

「黒い焼き物と白い焼き物があるけど、どうしてなのかな。」



てんじしつ 展示室の方の話

町には、たくさんの焼き物工場があります。その始まりは、今から360年ほど前のことです。会津のとの様につれてこられた職人が、ここで焼き物にtekishita土をたくさん発見し、かまをつくって陶器づくりをしたことによります。そして200年前から、磁器もつくられ始めました。

本郷地区には、焼き物をつくるための原料になる土だけではなく、作品を焼くかまをつくるねん土やうわぐすりの原料もたくさんありました。また、焼き物を焼くための燃料となるアカマツもたくさんありました。



「焼き物は、どのようにつくられているのかな。」



「できあがりまでどれぐらいの時間がかかるのかな。」

みんなは、かま元をたずねて、会津本郷焼がつくられる様子を見学してきました。

とうき 陶器



原料が陶土という土なので、土ものともいわれます。

じき 磁器

原料が陶石という石なので、石ものともいわれます。



1 土をさらす ほり出した土をつみあげ、1年以上天日にさらします。



2 土をねる 土をくだけ、あらいものをとりのぞき、水をくわえてねります。



3 形をつくる ろくろや手びねりで作品の形をつかっていきます。

あいつほんごうや
会津本郷焼はどのようにつくられているのでしょうか。

あいつほんごうやき 会津本郷焼ができるまで

かま元をたずねて見学した作業の様子をまとめてみました。



むなかた 焼き物をつくっている宗像さんの話

焼き物は、焼き上がって実際にかまから出して見るまで、どのように色がついているかわかりません。

ですから、取り出すときがとても楽しみです。しかし、自分で本当に満足いく作品は年に数個しかできません。失敗したものは、こわしたりせず、次の作品の成功に役立てるための反省材料となります。これからも苦労に苦労を重ね、人にまねできないようないい作品を作りたいと思っています。そして、多くの方が会津本郷焼に親しんでくれることを願っています。



かまづめをする 作品
にうわぐすりをかけて、か
まづめをします。



焼く 火が消えないよう
に3日3ばん火をたき続け
ます。



できあがり うわぐす
りがとけ、完成します。



「火が消えないよう3日間も休みなく
たき木をくべるなんてすごいね。」



「一人前の職人さんでさえも満足いく
作品があまりできないないほどおずか
しい作業なんだね。」

会津本郷焼は、1593年に会津若松城のとの
様が、城のへいを修理するとき、他の地い
きからかわら職人をよんで、やねがわらを焼
かせたのが始まりでした。

たくまさんたちは、職人のくふうや苦勞に
についてもまとめることにしました。



絵つけの様子

焼き物を作るときのく
ふうや苦勞はどんなところ
なのだろうか。

たくまさんたちは、ねん土から湯飲み茶
わんをつくってみることにしました。



「絵つけは、筆で色をぬるだけだっ
たけど、つくるのはおずかしそうだ
ね。」

つくり終わったみんなは、口ぐちに感想
を言い合いました。



「飲み口をじょうずにまるくするの
がとてもおずかしいね。」

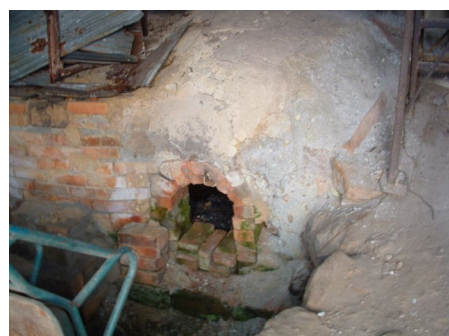


「形をつくるのがおずかしいのだから、
焼くのもおずかしいのかな。」



宗像さんの話

みなさんが思っていたよりもつくるのはむずかしかったと思います。わたしは、いい焼き物職人になるためには、わかひ時に10年くらい修行をしないと、いい職人にならないと思っています。それほど、焼き物はむずかしいものだと考えています。焼き物の修行に多くの人がおとずれますが、たいていは、半年から1年くらいでやめてしまいます。焼き物のさかんな本郷地区でも、全体的に見ると後継者が不足しています。よい後継者を育てていくことも必要です。



↑ のぼりがま

昔は、どのかま元も「のぼりがま」で作品を焼いていました。しかし、最近ではガスがまで焼き上げることもあります。ガスがまの方が便利だからです。これからは、昔からの伝とう的な方法だけでなく、現代にあった方法と昔ながらの方法をまぜながら新しいものを開発していくことも大切です。

会津本郷焼は、くらしの中でどのように使われているのだろうか。

本郷焼を生かす

りょうたさんたちは、湯飲みやさらなどのほかに、伝とう的な焼き物の技術を生かして、「がいし」をつくっていることを知りました。それをみんなにしょうかいしました。

がいしをつくる工場



↑ がいし

電気産業につかわれるがいしづくりが始まったのは、今から100年くらい前です。会津本郷焼は、ほとんどが手で作られます。しかし、がいしはコンピュータなどの近代的な機械を使った工場で作られます。



地元のとう石とよそから運ばれてくる原料をまぜ合わせてねん土をつくります。



コンピュータをつかって、自動的に作品ができあがるものもあります。



ベルトコンベヤーを用いてつくっています。

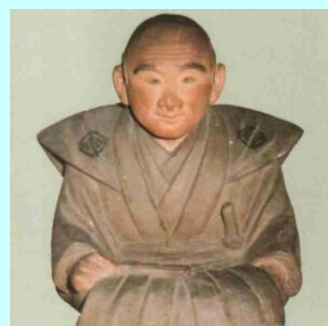
水野源左衛門

源左衛門は、瀬戸（愛知県瀬戸市）に生まれました。1645年に会津藩主の保科正之にめしかかえられて会津にやってきました。源左衛門は、観音山によい陶土をみつけ、陶器を焼き始めました。それが、会津本郷焼のはじまりです。



佐藤伊兵衛

伊兵衛は、もとは陶器をつくる職人でした。しかし、白い焼き物をつくりたいと思っていた伊兵衛は、有田（佐賀県）、京都、尾張（愛知県）などで白い焼き物のつくり方を学びました。そして、会津にもどり、会津本郷焼の白磁を完成させました。



みんなは、会津本郷焼の学習を通して、福島県には、昔から続いているすばらしい産業があることをほこりに思いました。

まなび方コーナー

まとめる

福島県のお知らせガイドブックのつくり方

- ① これまで調べたことのまとめを持ちよる。
- ② 地図や写真、イラスト、グラフなどを入れて、見てわかりやすくなっているかをたしかめる。（しりょうのまる写しにならないようにする）
- ③ 調べたことを白地図に整理する。
- ④ ガイドブックにのせる順番を決める。



4

県とわたしたちのまちの発てん

県内の地いきの広がりには、どのようなとく色があるのでしょうか。

さまざまなく色をもつ福島県

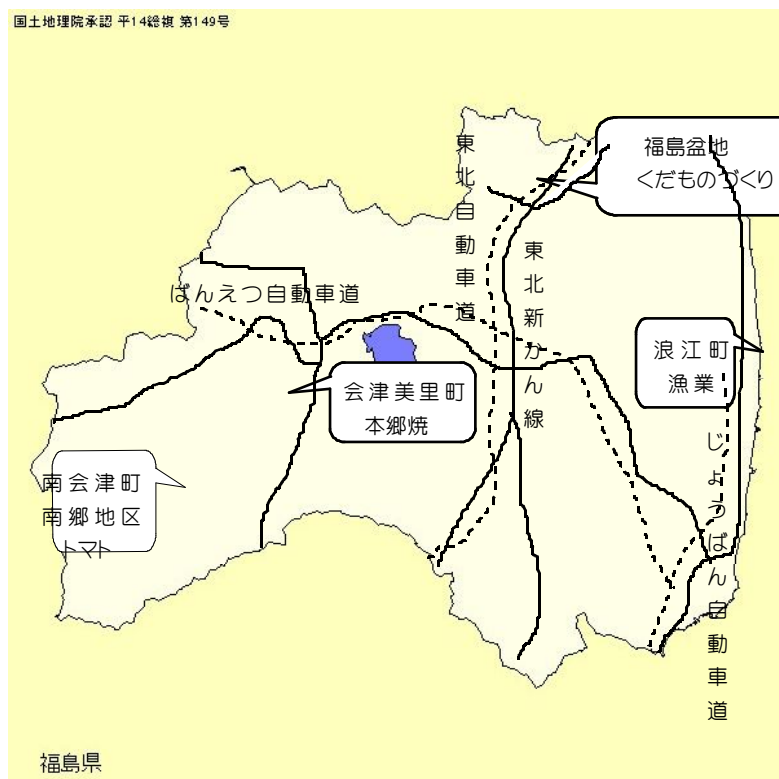
みんなはこれまで調べてきたことをガイドブックにまとめ、ひろしさんに送ることにしました。知らせたいことがきちんと調べてあるかをたしかめるために、白地図に整理しました。



「それぞれの地いきでは、その土地や気候のとく色を生かした産業がさかんだったね。」



「それ以外に、交通も関係があると思うよ。」



← りょう子さんたちが整理した地図



↑ 福島市がい



↑ 郡山市がい

みんなは、ほかにもしょうかいしたいことがないか、もう少し調べてみることにしました。



「県ちょうがあるのは、福島市ということもしょうかいしたいね。」



「鉄道や道路だけでなく、空港や港のことも調べたいな。」



福島県のお知らせガイドブックの目次をきめるのは、調べたことを白地図にまとめてみるとまとめやすくなります。

県の中心になっている市はどのようなとく色があるのでしょうか。

県の中心地 こおりやま 福島市と郡山市

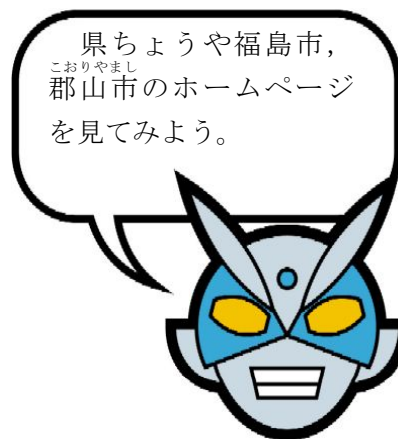
かずきさんたちは、鉄道や道路が集まっているまちについて調べることにしました。



「福島市には、県ちょうがあるんだね。」



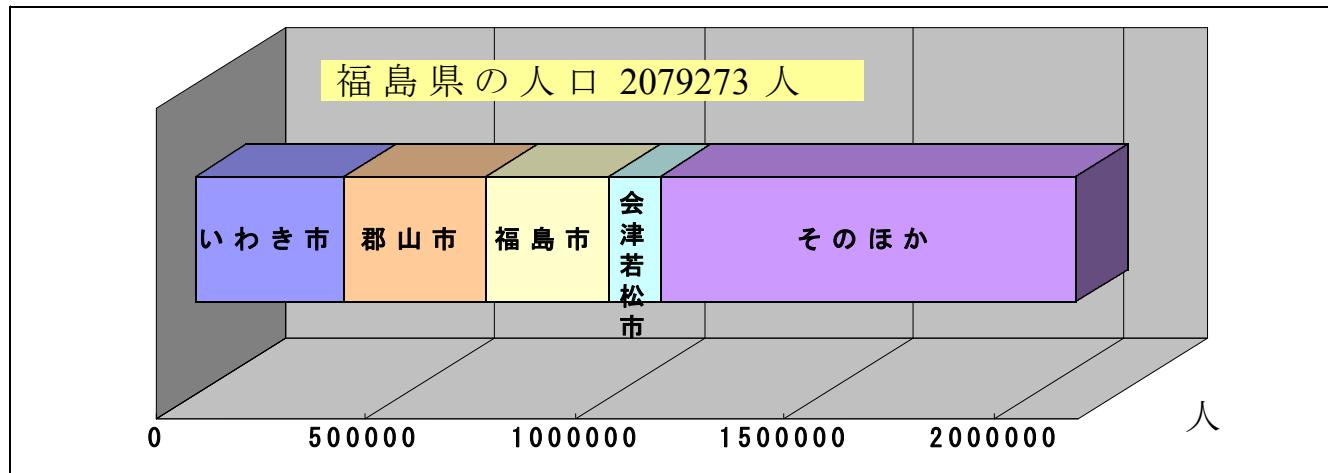
「福島県の真ん中にある郡山こおりやま市は、高速道路が東西と南北に通っているし、交通の中心地なんだね。」



県ちょうや福島市、こおりやまし郡山市のホームページを見てみよう。

福島市と郡山こおりやま市について、どんなことを調べるかを話し合いました。

福島県の人びとのくらしは、どのようにほかの地いきとつながりがあるのでしょうか。



↑ 福島県の主な市の人口 (平成19年11月1日)



県ちょうの方の話

福島市は、県ちょうのほかには国の役所や放送局などがあります。福島駅前の通りには、デパートや会社、ホテル、銀行などが集まっています。秋には、駅伝大会や祭りの客でにぎわいます。

郡山市は、交通の便がよく、福島市と同じように工場や会社が多くあります。8月のうねめ祭りは有名で、県内の各地から観光客がおとずれます。



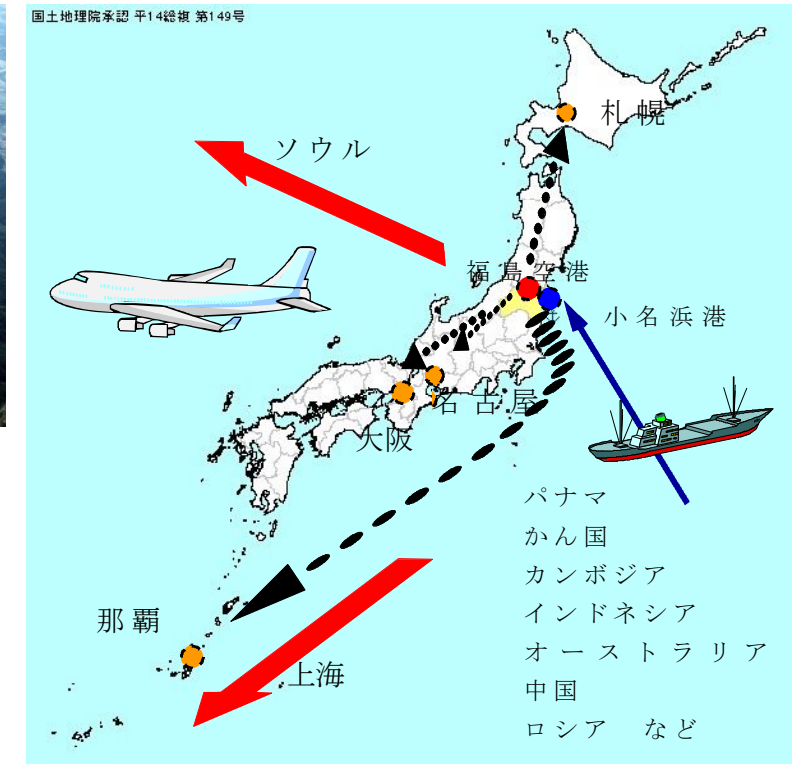
「福島県には、福島市や郡山市以外にもいわき市や会津若松市のように、会社や工場が多くあるまちがいくつもあるね。」



「これからの福島市は、多くの人が生活を楽しめ、お年寄りがいきいきとくらすまちづくりをめざしているそうです。」



↑ 福島空港



⇒ 空と海の交通のつながり

外国と福島県とはどのようなつながりがあるのでしょうか。

外国とつながる福島県

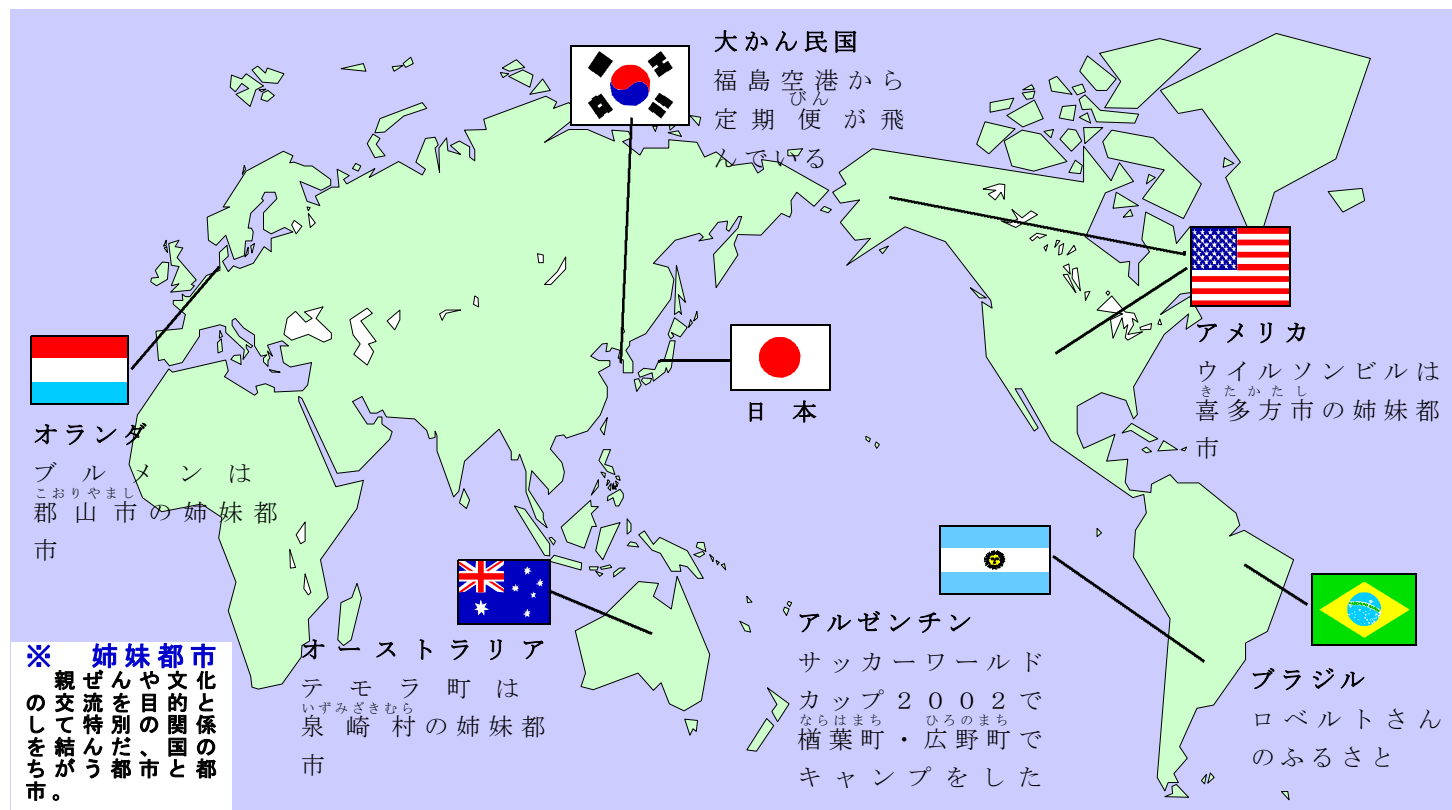
やすまさくんたちは、福島空港のしりょうをホームページで手に入れました。福島空港は、平成5年に開港しました。最初は、国内の空港だけと結ばれていたようですが、平成11年に中国便が飛ぶようになり、現在は上海とソウルに定期便が飛んでいるそうです。



「空港のロビーに韓国語で字が書いてある旗があったよ。」



「小名浜港に行ったとき、オーストラリアの石炭運ぱん船を見ました。」



↑ 福島県ちようちようしゃ



↑ うつくしま未来博

みらい
未来に向けて、福島県にく
らすわたしたちはどうすべき
なのでしょう。

これからの福島県

福島県では、21世紀の福島県を、県民が自分の力をはっきし、いきいきとくらすことができるような県にしようと考え、「うつくしま21」という計画をつくりました。

この計画は、「美しいふくしま」をみんなでつくろうとするものです。



県ちようの方の話

「うつくしま21」の計画は、「一人ひとりがおたがいを大切にする福島県」

「自然となかよくくらす福島県」「ふるさとを大切にする福島県」をみんなでいっしょにつくろうとするものです。ですから、県民の一人ひとりの意識が大切です。

「近所に住んでいるロベルトさんは、ブラジルから来たんだよ。」



ブラジルの国旗

緑色は森林しげんと農業を、黄色はこう物しげんを表しています。

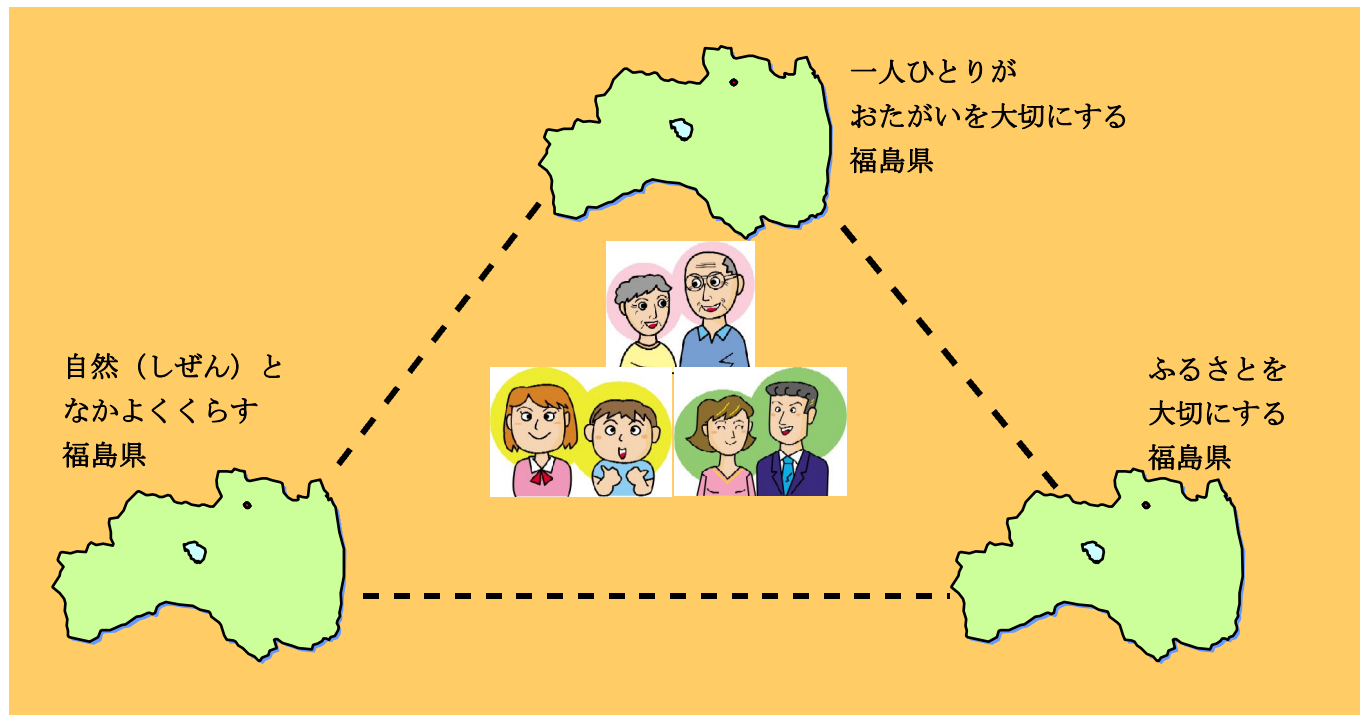
円の中の27の星は、ブラジリアと26の州を表しています。中央の文字は、「ちつじょと発てん」として表されています。



ロベルトさんの話

日本のプロサッカー選手になることにあこがれて、日本に来ました。日本で活躍している外国人のスポーツ選手はサッカー、野球、すもうなどでたくさんいます。小学校に行って自分の国のことをしょうかいすることもあります。小学生のみなさんに日本のことを教わったり、サッカーをして遊べたりすることも楽しみです。

みんなは、福島県がいろいろな国内の地いきだけではなく、世界とつながっているのだなと思いました。そして、地図帳で国々の位置をさがしてみました。



「一人ひとりがおたがいを大切にするってどういうことだろう。」

「自然となかよくって、どうすればいいのかな。」

「“うつくしま^{みらい}未来博”というのに家族で行ったことがあるけれども関係あるのかな。」

みんなは、「うつくしま21」計画がどのようなものなのかを調べて、自分たちがどのようにしていくべきなのかを話し合いました。

わくわく

福島県のお知らせガイドブック

もも子さんたちは、まとめたガイドブックを石がき市のひろしさんにわたすことにしました。みんなで方法を話し合った結果、学校で開いているインターネットのウェブページにのせて知らせることになりました。

福島県ガイドブック

4

福島ぼん地
くだものづくりの
さかんな地いき

県庁のある県の都
福島市

焼き物のまち
会津美里町

気候を生かして作りた
トマトづくりのまち
南会津町

サケりょうが
さかんなまち
浪江町

県の交通の中心地
郡山市

他の県やアジアとつながる
福島空港

東北で一番高い山
ひうちがたけ

外国とつながる
小名浜港

福島県の
産業

福島県の自然

福島県ちょうの
ホームページ